



# たもんじ 交流農園

2021年 12月号



Vol.45



## たもんじ交流農園は街に緑と活気をもたらすコミュニティ農園!

一般社団法人 墨田区観光協会  
観光地域づくり法人(DMO)

**理事長 森山育子**

12月の足音が近づく小春日和の日。子供たちが小さな芝生の築山でゴロゴロと転がるのを楽しんでいる姿を見て、なんて長閑で楽しい風景だなと、心豊かな気持ちになりました。「たもんじ交流農園」のデッキテラスと葡萄棚の間にある築山はそうした発想や思いがあって作られたのでしょうか。

これまで「すみだの夢プロジェクト」で「たもんじ交流農園」を応援させていただきました。一昨年は桜の木に「はぐくみの桜」と命名させていただきました。この桜の下で、地域の皆さんがともに野菜を育てコミュニティを繋いでいく。そしてその姿を見た子供たちに地域への愛着を持ち、自然の大切さを育ててほしいとの思いがあります。



今年の「たもんじ交流農園」の目標は、「車いすで野菜作りをしたい!子供たちと蛍を灯したい!」ですね。健常者も障がい者もやりたいことはみんな同じ。自然環境を取り戻すことも強い思いがなければできません。これまでのプロジェクトを達成してきた寺島・玉ノ井まちづくり協議会の皆さんだからこそ、今回もきっとやり遂げてくれると期待しています。住ん

でよし、訪れてよしのすみだの地域づくりのためにも微力ながら今年も応援させていただきました。



~車いすで野菜作りをしたい!子供たちと蛍を灯したい!~  
(12/20 現在)



817,000円

81.7%  
目標:1,000,000円

あと12日

森山理事長!応援ありがとうございます。おかげ様であともう一息となりました。ふるさと納税は12/31まで。ふるさとチョイスの公式HPからガバメントクラウドファンディングを選択し、「たもんじ」と検索してください。

## うちの畑じまん 第30回 大竹さゆいさん

昨年より友人から引き継いで、畑を始めて1年が経とうとしています。実家が農家で子どもの頃は畑が遊び場!数年前まで熱海で親子の農業体験を企画していたこともあり、経験と教で始まった畑作業でした。ずっと住んでいる近くで土に触れることをしたい!

と思っていたので、土に触れ、野菜を育てることはとても楽しくて、待ちきれず早朝から畑に向かったこともしばしば。どうしても畑に行く日にちがなかなか取れず、夏野菜で楽しみにしていたトマトが枯れてしまって実りが少なかったり、逆にきゅうりが大きくなり過ぎてしまったり…と夏野菜の収穫に少し苦戦しました。でも何事もトライアンドエラーを大切に、色んな野菜を育て、美味しく食べられる工夫をしていきたいと思っています。



また今までは自分が好きで畑をしてきましたが、来年は親子や子どもたちと種まきや苗植え、収穫などを一緒に楽しめる企画も出来たらなーと考えています。食べたりするだけではなく、収穫したもので遊んだり、造形をしたり…最後まで野菜で楽しめる!子どもたちと五感を使って楽しく畑で過ごしていけたらと思っています。(写真がいずれも、たもんじ交流農園のものでなくすいません)

# 第19回 今、ハマってます! 大倉香人さんの場合



夏から水槽にハマってます。カッコよく言うとアクアリウムとも言いますが、自宅の水槽では主に水草を育て、川でとってきたヌマエビを飼っています。つまり、ワタクシ、陸上(たもんじ交流農園)でも水中(自宅に水槽)でも植物を育てている水陸両用植物栽培オジサンなわけです。

一口に水槽と言いましても、実はトンデモなく奥が深くて、特に水草なんかは畑と同じように肥料をあげたり、水質チェックを欠かさず行い、さらにはCO2(二酸化炭素)の添加までするという上級者向けのこだわり方があります。畑でも三大肥料要素のNPKを考えたり、そのほかに土壌pHやら通気性やらにも気を配ったりすると思いますが、水槽という限られた環境を維持するのは、畑作業にヒジョーによく似ているのです。水槽では肥料をあげすぎると雑草ではなくコケ(正確には藻類と呼ばれる微生物)が生え、水が汚れると招かざる客(ミスミズというのがあります)が現れたりします。しかし、畑の収穫と同じでキレイに仕上がった水槽を何も考えずにジューッと見る時間は格別で、家族が寝静まった後に、水族館を独り占めしていような気分です。まだまだ、初心者の域を出ていませんが、詳しい方、ご興味ある方は話しかけてください。



## “てらたま農園部から”

## 第5回 ～え?!、ハクビシン?!～

オリンピック開催是非が話題になっている頃、農園ではハクビシンが話題に。5/19に、てらたま区画に不審動物の足跡があり落花生が荒らされ、水口先生に足跡写真を見ていただきハクビシンだと判明。

すぐに対策としてニンニクをぶら下げても、再び荒らされ5/28には人感センサーを設置。しかし努力むなしく会員さんの作物が荒らされる。夜行性ゆえ未だ姿を確認出来ず、不安が募っていた矢先の6/5に、西側のブロック壁をにかけていくハクビシンと遭遇。私は思わず「ハクビシンっ!」と叫び、居合わせた数人も一緒に目撃し、本当にいたのだと確信。続けて



6/7の早朝6時にも同じ場所で遭遇。8月になっても被害が報告され、下旬には唐辛子成分を練り込んだ赤い札を、葡萄棚と落花生にぶら下げ、葡萄にナイロンネットをかけるも、何房か被害にあい早々に残りを収穫する事に。ただその後は、落花生などは被害に合わず収穫を迎え安堵。虫以外にも頭を悩ませた一年でした。



## 11/21(日) 芋煮鍋 BBQ 大会大盛況!!

晴天のもと、72人ものご参加を頂きました。



**水口アドバイザーご指導日: 1/23(日) 10:00~** **農園部作業日: 畑初め 1/9(日) ~毎週日曜 9:00~**

募集中 たもんじ交流農園のフル(11㎡)とハーフ(5.5㎡)各1の耕作者 申込期限 12/25(土) 抽選 12/26(日) 申込先 suebayashi@yahoo.co.jp に①名前、②住所、③電話番号他メール



たもんじ交流農園便り  
No.45-般 2021.12.20 発行  
題字 田村風来門  
編集 末林和之



HomePage

てらたま協議会  
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)  
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)

セブン-イレブン記念財団



Facebook